

## 特別講演 2

### 「平成 28 年度診療報酬改定の概要」

厚生労働省保険局医療課 課長補佐

田村 圭 先生

平成 26 年度診療報酬改定の結果、「病床の機能分化・連携」は進展しており、更なる推進を図る必要があること、「外来医療・在宅医療」については、「かかりつけ医機能」の一層の強化を図る必要があるとの認識の下、平成 26 年度診療報酬改定の結果検証を踏まえ、以下の基本的視点をもって平成 28 年度診療報酬改定が行われました。視点①「地域包括ケアシステムの推進と、病床の機能分化・連携を含む医療機能の分化・強化・連携を一層進めること」、視点②「かかりつけ医等のさらなる推進など、患者にとって安心・安全な医療を実現すること」視点③「重点的な対応が求められる医療分野を充実すること」、視点④「効率化・適正化を通じて制度の持続可能性を高めること」。

以上を踏まえ、平成 28 年度診療報酬改定において、具体的にどの様な見直しが行われたのか、その概要を説明いたします。